

2022年度 日本工学院専門学校											
声優・演劇科											
演技研究Ⅰ											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	講義	時間数	60	単位	4
担当教員	城田浩司			実務経験		職種	有・俳優				
担当教員紹介											
産業能率大学経営情報学部経営学科卒業 元俳優付き人／ものまねタレント「ものまねグランプリ」「行列のできる相談所」「ザ・細かすぎて伝わらないモノマネ」「今夜くらべてみました」「ぐるぐるナインティナイン」「笑う大晦日」ドラマ「法医学教室の事件ファイル24～30」「時効警察」他											
授業概要											
役者が行う演技・演劇とは、「人間」を演じることである。様々な個性・感性・考え方を持つ他者と会話をし、理解し合うことで、コミュニケーションスキルを身につけると同時に、「人間」を研究し、知ることによって演技の幅を広げていきます。加えて作品鑑賞・オーディション講座を通して、他者からの見られ方を研究し、セルフプロデュース力を高めます。 また発声滑舌と内面の解放の反復練習を要する基礎トレーニングを実施します。											
到達目標											
全員と会話をする。グループワークを通して、協調性を養う。相手の状況・立場を考えながら、自分の意見を話すことができるようになる。演技パターンを増やし、広げていく。対策講座を経て、オーディションに臨む心構えを学び、プロフィールの完成を目標とする。											
授業方法											
この授業では、グループワークを多く取り入れる。前期前半は、コミュニケーションスキルの向上を目指し、後半では、オーディションに臨むための知識を習得、実演する。後期では、業界研究・作品鑑賞を通して、演技の幅を広げ、エチュードを使って稽古・発表を行う。											
成績評価方法											
平常点 70% 積極性や協調性など、授業への取り組み方を評価します。 レポート 30% 振り返りレポートを作成することにより、自身の成果を確認します。											
履修上の注意											
遅刻・欠席をしない。自発性・主体性。他人への思いやり。 授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	・心の中のコトバとフェルトセンス/コミュニケーションにおける「心の中のコトバ」の重要性を体感的に知る ・声の仕組みと、声帯の構造① ～息と声の違い～										
第2回	・コトバの実験/非言語的コミュニケーションが「90%」を占めることを実感として知る ・声の仕組みと、声帯の構造② ～息と声の違い～										
第3回	・あなたは世界のどこに立っている/物語と立ち位置の関係を知り、自分の立ち位置を自覚する ・発声法理論① ～息から声へ～										
第4回	・カラダが言葉を裏切る時/ストレートブレーのことばと不条理のことば、コトバとカラダの関係を知る ・発声法理論② ～息から声へ～										
第5回	・傾聴と人生の歩き方/自分を身体的に知る ・発音と口形① ～苦手な音を認識する～										

2022年度 日本工学院専門学校	
声優・演劇科	
演技研究 I	
第6回	・真実と攻撃的なコミュニケーション/ ・発音と口形② ～苦手な音を認識する～
第7回	コーチングのコトバ/日本のコーチと欧米のコーチ、何が違ったのか？ 自分自身が自分のコーチとなるために
第8回	ダイバーシティコミュニケーション/なぜ日本人は議論的でないのか？ ダイバーシティとコミュニケーションの関係を知る
第9回	コミュニケーションスキルまとめ/これまでの授業を振り返り、自身の成果を確認します
第10回	ヴォイスサンプル講座①/スタジオマナーの習得。スタジオ収録に向けた準備プロセスを学ぶ
第11回	ヴォイスサンプル講座②/収録時の雰囲気を知り、緊張感を体感する
第12回	オーディション対策講座①/プロフィール作成に向け、自分を知り自己演出方法を探る
第13回	オーディション対策講座②/ファッションメイクなど、コーディネーターから全般的な知識を得る
第14回	オーディション対策講座③/大勢の前で、自己演出を発表する
第15回	オーディション対策講座④/まとめ。プロフィール写真を撮る。撮影の雰囲気を体感する